

# かがやき

令和4年 3月 24日(木)  
多摩市立連光寺小学校  
特別支援教室 かがやき学級  
学級通信 NO. 20

## ～自分を知っていく・相手を知っていく～

先週1年間のかがやきでの指導が終了しました。この1年、何に向き合い、何を学んできたのか。個別や小集団指導の際にいろいろな声が聞こえてきます。「行動が早くなった」「嫌な気持ちになっても、切り替えが少しずつできるようになった」「教室のみんなとかかわれることが増えた」「忘れ物をしたときに借りに行くことができるようになった」等々。自分のできるようになってきたことがなんとなくでもわかる。これは自分への気づきです。自分の得意や苦手になんか少しづつ気が付いてじぶんなりのやり方を見つけていく。今後こうした力を子供たちの中で育てていければと思います。加えて、自分に気が付くことで他者に対しての意識も少しずつ生まれてきます。相手の全てを知ることはできないけど、自分の感覚や好み。気持ち。考え方。「こんなことが同じで、こんなことが違うのか。」相手を知るということは違いに気が付くということでもありますね。日々のグループ学習や小集団学習や個別指導の中で。ちょっとした衝突や言い合いの中で。相手を知るという学びがあったと思います。

新年度、新しい出会いや生活に向けてかがやきの中にあるこうした学びを深めていきたいと思います。今年度、学級へのご協力ありがとうございました。

## ～その先へ！飛べ！ 「卒業おめでとう。」「卒業おめでとうございます！」～

いよいよ6年生は卒業ですね。の時期、大人目線で考えると「感慨深い」や「懐かしむ小学校生活」という言葉が連想できます。ただ、かつて子供だった自分(今の大人)目線で思い返せば、卒業式前夜に何を思っていたか……。卒業式後の遊ぶ友達との約束。ファミコン。マンガ。アニメ。テレビ。プラモデル。等々。目の前のことしかなかったように思います。「今」を懐かしむのは大人だからできることでもあるのかもしれません(ジュネの法則)。でも、逆に。だから子供はどんどん進んで行けるのだと思います。転んでも失敗してもどんどん前に進んでいく。今しか見えない分その先にどんどん進んで行く。そして大人と言え、かつて自分がそうしてもらったようにそこに寄り添って応援していくしかないのですね。今、令和3年度の6年生が「その先」に向かって飛び立とうとしています。小学校生活が今後自分のどんな宝物になるかまだ分かりません。でも、この全力で過ぎてきた日々は必ずプラスになることでしょう。全力で過ぎた6年間。子供たちに「卒業おめでとう！」子供たちに寄り添い、応援して下さったご家族の方に「卒業おめでとうございます！」。卒業生。その先へ飛べ！！